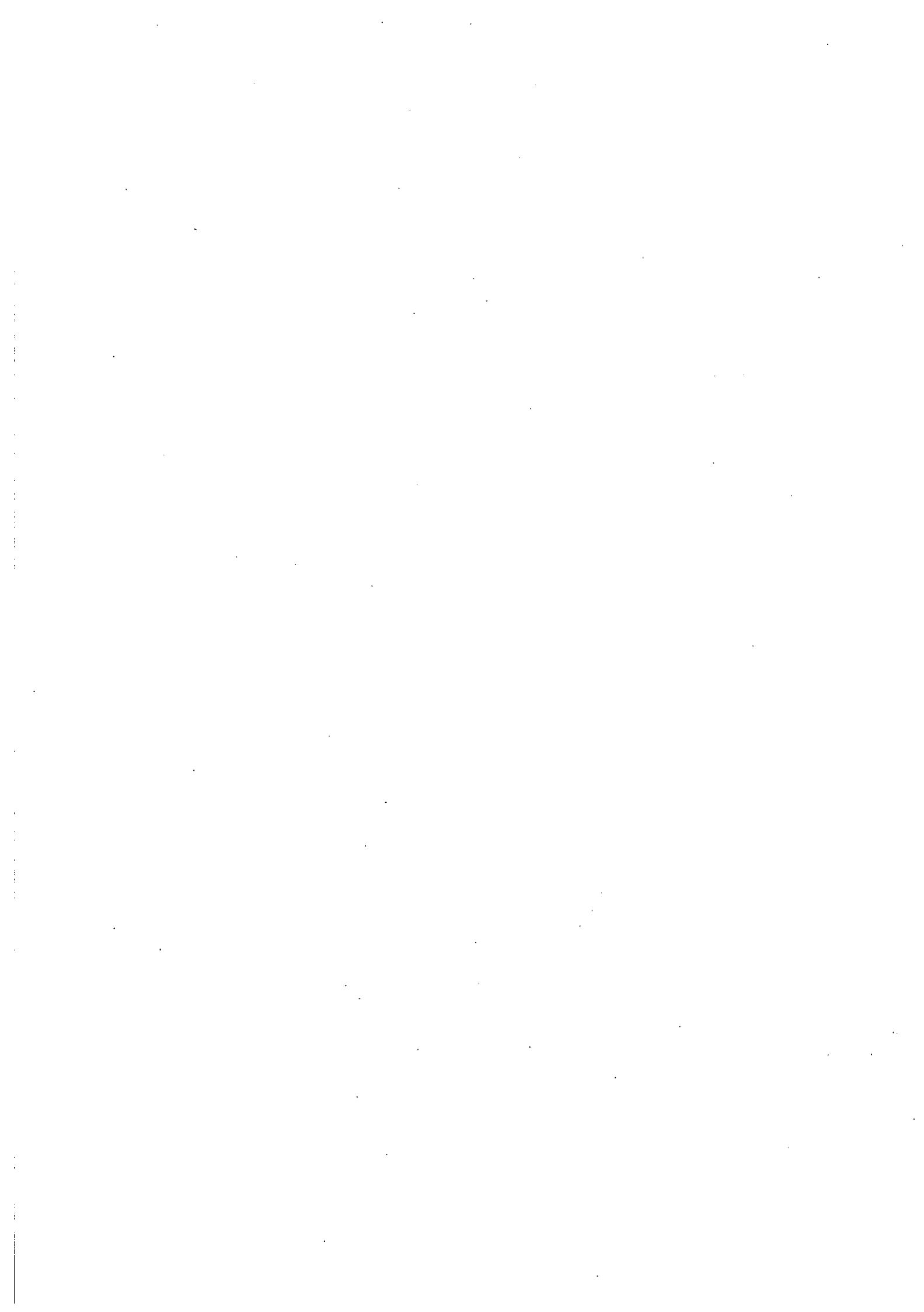


令和6年度

児童生徒の健康・体力

青森県教育庁スポーツ健康課



まえがき

県教育委員会では、学校における体育・健康教育の充実を図るため、悉皆による「学校保健調査」及び「体格、体力、ライフスタイル調査」を実施しており、この度、令和6年度児童生徒の健康・体力に関する報告書としてまとめました。

第1部では「学校保健調査」を基に児童生徒の体格や健康状態について、第2部及び第3部では「体格、体力、ライフスタイル調査」を基に体力やライフスタイルの状況について、それぞれ分析した結果を示しております。調査に御協力いただきました各校をはじめ、関係機関に対し厚くお礼申し上げます。

さて、近年、社会状況や児童生徒を取り巻く環境等の変化は、児童生徒の心身に様々な影響を及ぼしており、肥満や視力低下など生活習慣に関する問題や体育の授業以外での運動時間の減少、メンタルヘルスに関する課題、性の問題行動・薬物乱用、感染症など様々な問題が顕在化しております。

このような中、学習指導要領では、学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導について、児童生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行なうことが示されています。また、家庭や地域社会との連携を図りながら、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮していく必要があります。

本県の肥満傾向児の出現率は、令和5年度と比較するとやや減少している一方、児童生徒の体力は、前年度と比較すると低下しております。今後、更なる肥満傾向児の出現率の減少及び体力の向上に向け、児童生徒の健康や体力の状態を的確に把握した上で、学校・家庭・地域・関係機関等が連携して計画的、継続的に指導していくことが大切であると考えます。

本報告書を通して、本県の児童生徒の健康状態及び体格、体力、ライフスタイルの状況や課題を把握するとともに、学校における体育・健康教育の指導に広く活用されることを期待しております。

令和7年3月

青森県教育庁

スポーツ健康課長 坂本 雄大

目 次

第1部 学校保健調査結果

I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	2
1 児童生徒の体格	2
2 児童生徒の疾病・異常の状況	4
3 裸眼視力	5
4 う歯	6
(1) う歯被患率の状況と校種別の年次推移	6
(2) 地区別う歯被患率（男女合計）の状況	7
(3) 永久歯の1人当たり平均う歯等数	7
5 肥満度（過体重度）について	9
(1) 肥満傾向児及び瘦身傾向児の出現率の状況	10
(2) 地区別肥満傾向児及び瘦身傾向児の出現率の状況	10
(3) 地区別、男女別肥満傾向児の出現率の状況	10
(4) 地区別、男女別瘦身傾向児の出現率の状況	10
III 統計資料	
1 令和6年度小・中・高等学校疾病・異常被患率等の全国平均値と県平均値	16
2 令和6年度本県児童の疾病・異常被患率（小学校）	17
3 令和6年度本県生徒の疾病・異常被患率（中学校）	18
4 令和6年度本県生徒の疾病・異常被患率（高等学校）	19

第2部 体力調査結果

I 調査の概要	20
II 調査結果の概要	21
1 児童生徒の体力	21
2 年齢別新体力テスト平均値、標準偏差及びT得点	26
3 新体力テストのT得点換算による比較	28

III 統計資料	35
1 性別、年齢別体格の全国平均値及び県平均値（体格、体力、ライフスタイル調査）	35
2 体格の地区別平均値	36
3 体力テストの地区別平均値	37
4 体力テストの県平均値3年間の推移	41

第3部 ライフスタイル調査結果

I 調査の概要	43
II 調査結果の概要	44
1 ライフスタイルの状況と体力テスト合計点	44
2 運動部や地域スポーツクラブへの所属状況別、体格・体力の平均値	50
3 運動・スポーツの実施状況（学校の体育の授業を除く）別、体格・体力の平均値	52
4 1週間の運動・スポーツ実施時間（学校の体育の授業を除く）別、体格・体力の平均値	54
5 1日の運動・スポーツ実施時間（学校の体育の授業を除く）別、体格・体力の平均値	56
6 朝食の有無別、体格・体力の平均値	58
7 1日の睡眠時間別、体格・体力の平均値	60
8 1日のスクリーンタイム（学習以外のスマホ・タブレット・テレビ・ゲーム等を見る時間）の時間別、体格・体力の平均値	62
9 睡眠状況（よく眠れる日）別、体格・体力の平均値	64
10 小学校入学前の屋外運動状況別平均値	66
11 目標達成意欲別平均値	68
12 瘦身・適性群、肥満傾向別、体格・体力の平均値	70
13 ライフスタイル調査の地区別平均値	72

第4部 資料編

I 調査の概要	83
令和6年度小学校運動部活動調査結果集計	84
令和6年度中学校運動部活動調査結果集計	85
令和6年度高等学校運動部活動調査結果集計（全日制）	86
令和6年度高等学校運動部活動調査結果集計（定時制・通信制）	87

第1部

学校保健調査結果

第1部では、令和6年度に実施した「学校保健調査」に基づき、本県児童生徒の体格及び健康状態について分析した結果を示す。

I 調査の概要

1 調査対象者

小学校、中学校及び高等学校の全児童生徒を対象とする。

ただし、高等学校生徒のうち、全日制課程及び定時制課程に在籍する満18歳以上（令和6年4月1日現在の満年齢）の生徒、過年度生等で年齢と学年が一致しない生徒及び通信制課程の生徒は除く。

2 年齢の取扱い

区分		年齢	生年月日の範囲
小学校	1年	6歳	平成29年4月2日～平成30年4月1日
	2年	7歳	平成28年4月2日～平成29年4月1日
	3年	8歳	平成27年4月2日～平成28年4月1日
	4年	9歳	平成26年4月2日～平成27年4月1日
	5年	10歳	平成25年4月2日～平成26年4月1日
	6年	11歳	平成24年4月2日～平成25年4月1日
区分		年齢	生年月日の範囲
中学校	1年	12歳	平成23年4月2日～平成24年4月1日
	2年	13歳	平成22年4月2日～平成23年4月1日
	3年	14歳	平成21年4月2日～平成22年4月1日
高校	1年	15歳	平成20年4月2日～平成21年4月1日
	2年	16歳	平成19年4月2日～平成20年4月1日
	3年	17歳	平成18年4月2日～平成19年4月1日

3 調査の方法

本調査では、「学校保健安全法」により毎学年6月30日までに実施されている学校における健康診断の結果に基づき、調査票を作成する。

II 調査結果の概要

1 児童生徒の体格

(1) P 3・表1は、性別、年齢別体格の青森県平均値である。

(2) 発育状態

① 身長

男子の年間発育量は11歳から12歳が7.9cmと最も大きい値となっている。女子の年間発育量は9歳から10歳が6.9cmと最も大きい値となっている。

② 体重

男子の年間発育量は11歳から12歳が5.6kgと最も大きい値となっている。女子の年間発育量は10歳から11歳が4.6kgと最も大きい値となっている。

※ 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。

例えば、身長の男子12歳の年間発育量7.9cmの場合は次のように算出する。

$$\begin{aligned} \text{年間発育量} &= 155.1\text{cm} \text{ (令和6年度の12歳の数値)} - 147.2\text{cm} \text{ (令和5年度の11歳の数値)} \\ &= 7.9\text{cm} \end{aligned}$$

(表1) 性別、年齢別体格の青森県平均値

性別	区分	年齢	身長(cm)		体重(kg)		年間発育量 ①-②
			①令和6年度平均値	②令和5年度平均値	青森県	青森県	
男	小学校	6	117.5	117.5	-	22.2	22.4
		7	123.4	123.6	5.9	25.2	25.5
		8	129.1	129.3	5.5	28.9	29.3
	中学校	9	134.8	134.8	5.5	33.0	33.3
		10	140.4	140.7	5.6	37.2	37.5
		11	147.2	147.2	6.5	42.0	41.9
子	高等学校	12	155.1	155.5	7.9	47.5	48.2
		13	162.4	162.4	6.9	53.2	52.9
		14	167.0	166.7	4.6	57.5	57.3
	中学校	15	169.1	168.0	2.4	61.5	60.9
		16	170.4	170.5	2.4	62.9	63.1
		17	171.2	171.1	0.7	65.1	65.2
女	小学校	6	116.4	116.8	-	21.6	22.1
		7	122.8	122.9	6.0	24.7	24.8
		8	128.8	129.1	5.9	28.1	28.4
	中学校	9	135.5	135.6	6.4	32.1	32.5
		10	142.5	142.8	6.9	36.8	37.3
		11	148.8	148.9	6.0	41.9	42.3
子	高等学校	12	153.1	153.1	4.2	46.3	46.2
		13	155.5	155.5	2.4	49.2	49.1
		14	156.8	156.9	1.3	51.1	51.3
	中学校	15	157.3	157.3	0.4	52.6	52.3
		16	157.9	158.0	0.6	53.3	53.4
		17	158.3	158.2	0.3	53.8	54.0

県……令和5、令和6年度青森県学校保健調査による(調査の主管は県教育庁スポーツ健康課)
(注) 小数点以下第2位を四捨五入

2 児童生徒の疾病・異常の状況

表2は、本県の児童生徒の疾病・異常について、被患率を学校種別にまとめたものである。

疾病・異常被患率が最も高いのは、小学校、中学校及び高等学校ともに「裸眼視力1.0未満の者」で、45.0%と61.6%と64.1%となっている。(P16・表15参照)

次いで高いのは、小学校、中学校及び高等学校ともに「う歯」で、44.3%と35.8%と43.6%となっている。

(表2) 疾病・異常被患率

校種 区分(%)	小学校	中学校	高等学校
90以上			
60~90未満		裸眼視力	裸眼視力
50~60			
40~50	裸眼視力、う歯		う歯
30~40		う歯	
20~30			
10~20	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患
8~10			
6~8	耳疾患		
4~6	眼の疾病・異常	耳疾患、歯列・咬合	
2~4	栄養状態、心電図異常、その他の疾病・異常、歯列・咬合、歯垢の状態	栄養状態、脊柱、眼の疾病・異常、心電図異常、蛋白検出、その他の疾病・異常、歯垢の状態	眼の疾病・異常、耳疾患、心電図異常、蛋白検出、その他の疾病・異常、歯列・咬合、歯垢の状態
1			
1~2	脊柱、アトピー性皮膚炎、蛋白検出、ぜん息	アトピー性皮膚炎	アトピー性皮膚炎
0.5~1	四肢、難聴、口腔・咽喉頭疾病、その他の皮膚疾患	四肢、ぜん息	脊柱、心臓、ぜん息、頸関節
0.1~0.5	心臓、尿糖検出、腎臓疾患、言語障害、頸関節	胸郭、難聴、口腔・咽喉頭疾病、その他の皮膚疾患、心臓、尿糖検出、腎臓疾患、言語障害、頸関節	栄養状態、四肢、難聴、口腔・咽喉頭疾病、その他の皮膚疾患、結核、尿糖検出、腎臓疾患、言語障害
0.1未満	胸郭、結核、結核の精密検査の対象者	結核、結核の精密検査の対象者	胸郭

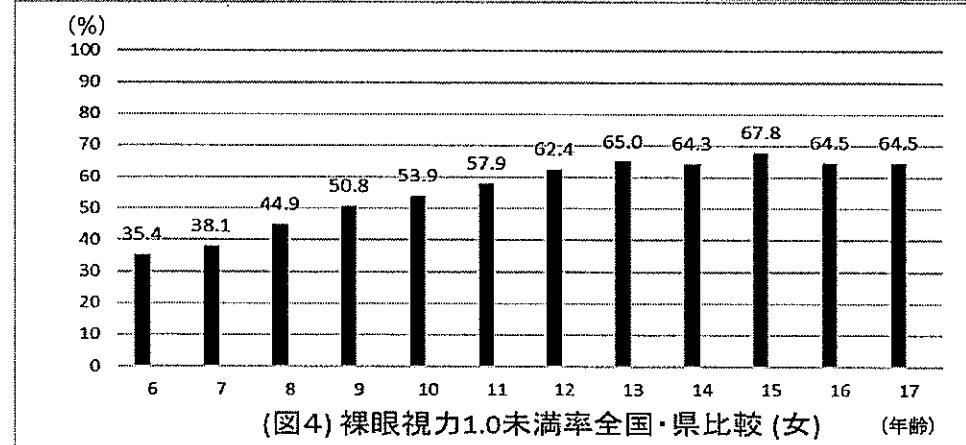
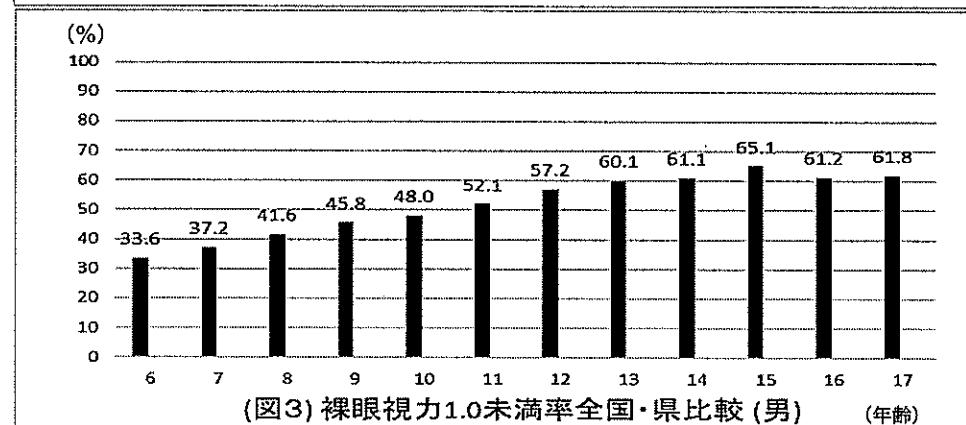
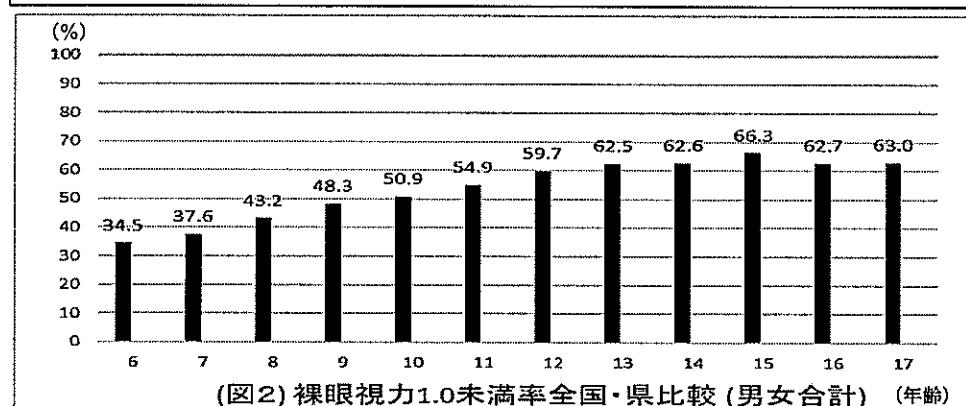
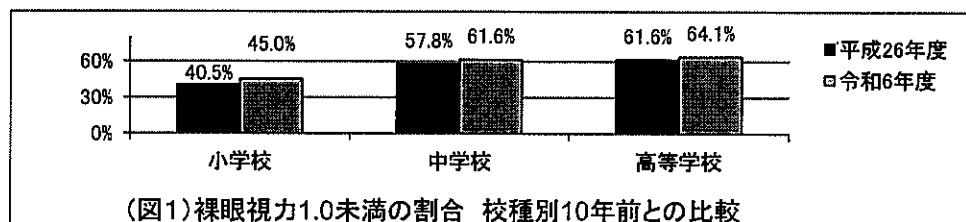
3 裸眼視力

図1は、「裸眼視力1.0未満の者」の割合を校種別に10年前と比較したものである。

また、図2～4は、裸眼視力1.0未満率の青森県平均値である。

「裸眼視力1.0未満の者」は、小学校段階から加齢とともに増加し、15歳がピーク（図2）となっている。

中学校及び高等学校における裸眼視力0.3未満の者（眼鏡を必要とする者）は、近年30%前後で推移しており、今年度調査では、中学校32.4%、高等学校35.3%となっている。（P16・表15参照）



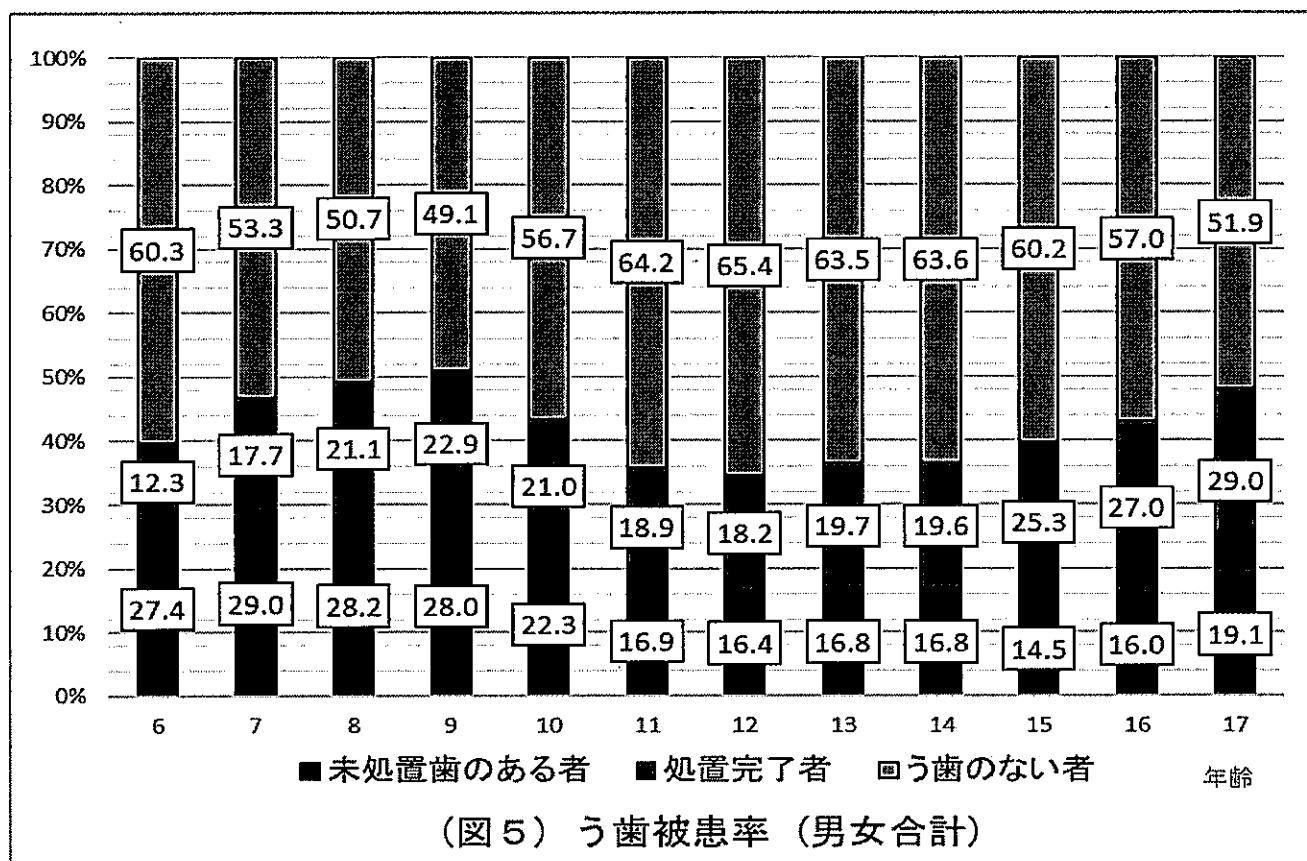
4 う歯

(1) う歯被患率の状況と校種別の年次推移

図5は、う歯の年齢別被患率（男女合計）を示したものである。う歯被患率は6歳から8歳、14歳から17歳にかけて増加しているが、9歳から12歳にかけては減少傾向にある。なお、う歯被患率は6歳で既に39.7%となっている。

また、表3は、10年間のう歯被患率（男女合計）の全国及び県の年次推移を校種別に示したものである。

本県では、小学校、中学校、高等学校の各校種において、う歯被患率は減少傾向にあるものの、全国平均と比較すると、各校種とも上回って推移している。

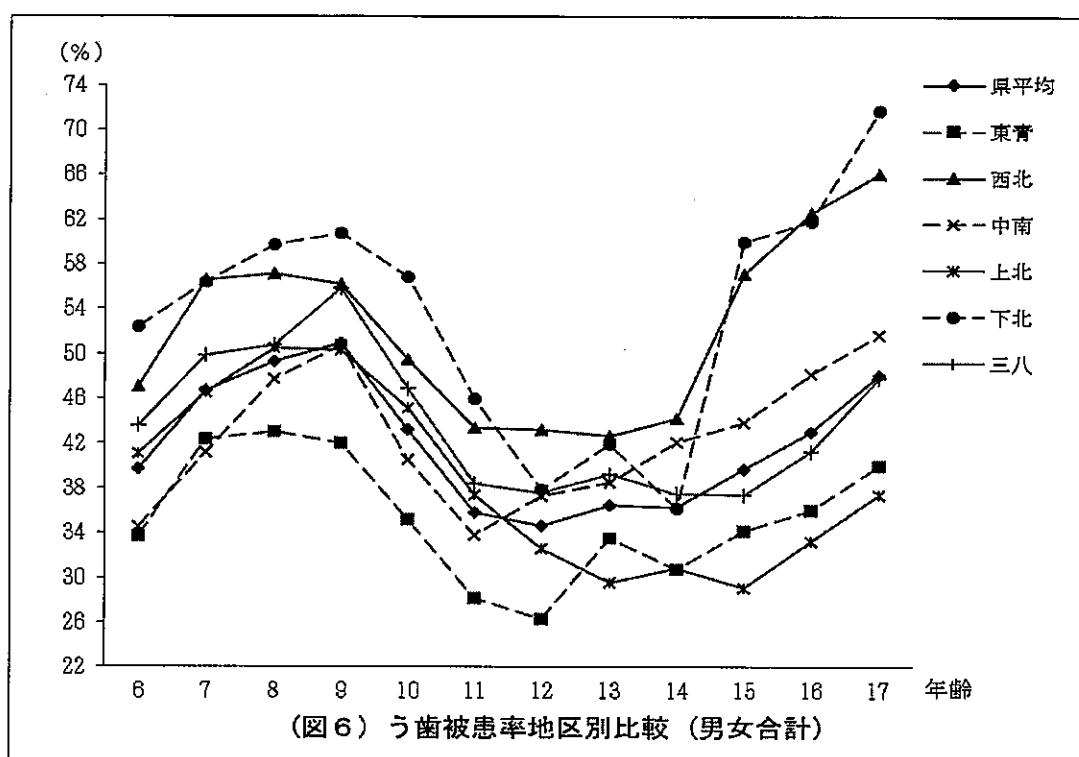


(表3) 校種別う歯被患率（男女合計）の年次推移 (単位:%)

年度		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
校種別	全国	50.8	48.9	47.1	45.3	44.8	40.2	39.0	37.0	34.8	32.9
小学校	全国	62.0	60.0	58.4	57.4	55.5	51.4	51.0	49.0	47.0	44.3
	県	51.7	50.1	49.6	47.4	46.1	42.4	41.8	39.2	36.2	35.8
中学校	全国	40.5	37.5	37.3	35.4	34.0	32.1	30.4	28.2	28.0	26.5
	県	52.5	49.2	47.3	45.4	43.7	41.7	39.8	38.3	36.4	34.7
高等学校	全国	61.2	58.6	58.1	56.0	53.8	49.5	47.8	47.2	45.0	43.6
	県										

(2) 地区別う歯被患率（男女合計）の状況

図6及び表4は、う歯被患率（男女合計）を地区別に比較したものである。これをみると東青地区は全年齢層で県平均を下回っている。また、上北地区は4年齢層、中南地区は6年齢層、三八地区は9年齢層、下北地区は11年齢層で県平均を上回っており、西北地区では全年齢層において県平均を上回っている。



(表4) う歯被患率地区別一覧 (単位:%)

区分	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
県平均	39.7	46.7	49.3	50.9	43.2	35.8	34.6	36.5	36.3	39.7	43.0	48.1
東青	33.7	42.4	43.0	42.0	35.2	28.2	26.3	33.5	30.7	34.2	36.0	40.0
西北	47.1	56.6	57.1	56.2	49.5	43.4	43.2	42.6	44.2	57.1	62.6	66.1
中南	34.5	41.2	47.7	50.8	40.5	33.8	37.3	38.5	42.1	43.8	48.2	51.7
上北	41.1	46.5	50.5	50.3	45.1	37.4	32.6	29.5	30.8	29.1	33.2	37.4
下北	52.4	56.4	59.7	60.7	56.8	46.0	37.8	41.9	36.2	60.0	61.8	71.7
三八	43.6	49.8	50.8	55.8	46.9	38.4	37.6	39.2	37.5	37.4	41.3	47.8

※網掛けは県平均を上回った年齢層

(3) 永久歯の1人当たり平均う歯等数

表5及び表6は「永久歯の1人当たり平均う歯等数」の推移である。本県のう歯等数は全国に比べると高い値を示しているが、小1を除いてどの学年においても減少傾向にある。

(表5) 12歳児永久歯の1人当たり平均う歯等数 (単位:本)

年度	喪失歯数	う歯			計	
		計	処置歯数	未処置歯数		
全国	令和3年度	0.01	0.62	0.39	0.63	
	令和4年度	0.01	0.55	0.35	0.56	
	令和5年度	0.01	0.55	0.35	0.55	
	令和6年度	—	—	—	—	
県	令和3年度	0.00	0.96	0.61	0.35	0.97
	令和4年度	0.00	0.87	0.54	0.32	0.87
	令和5年度	0.00	0.85	0.52	0.32	0.85
	令和6年度	0.00	0.84	0.48	0.36	0.85

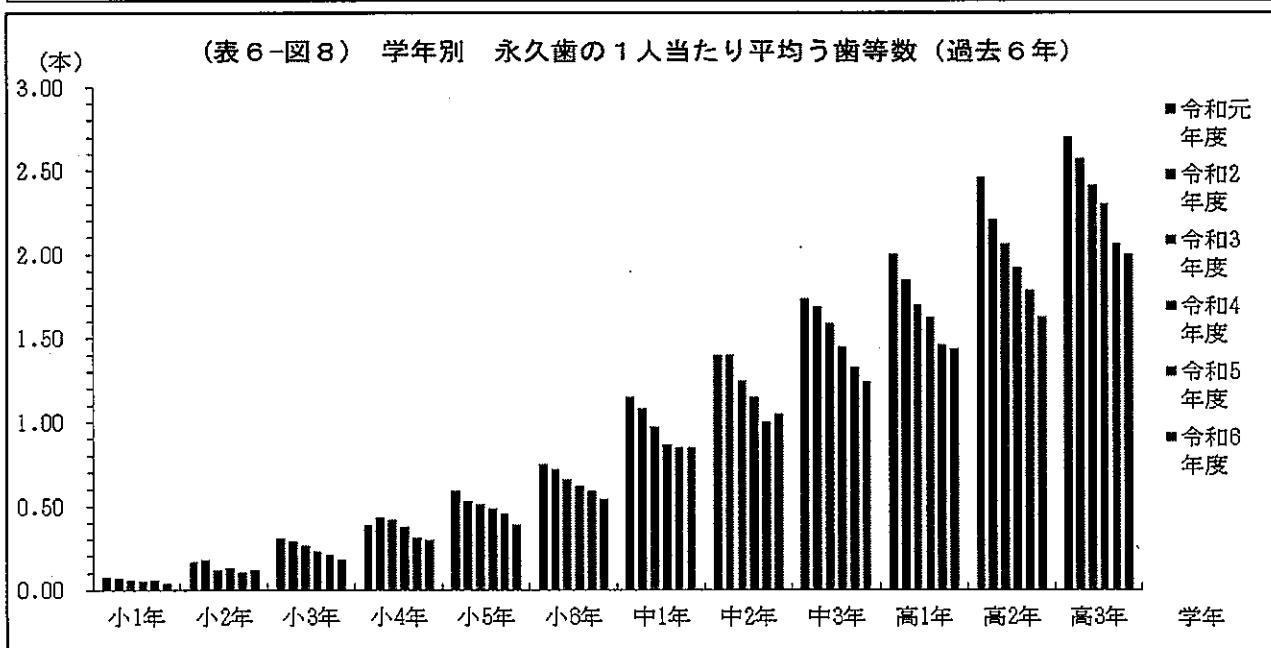
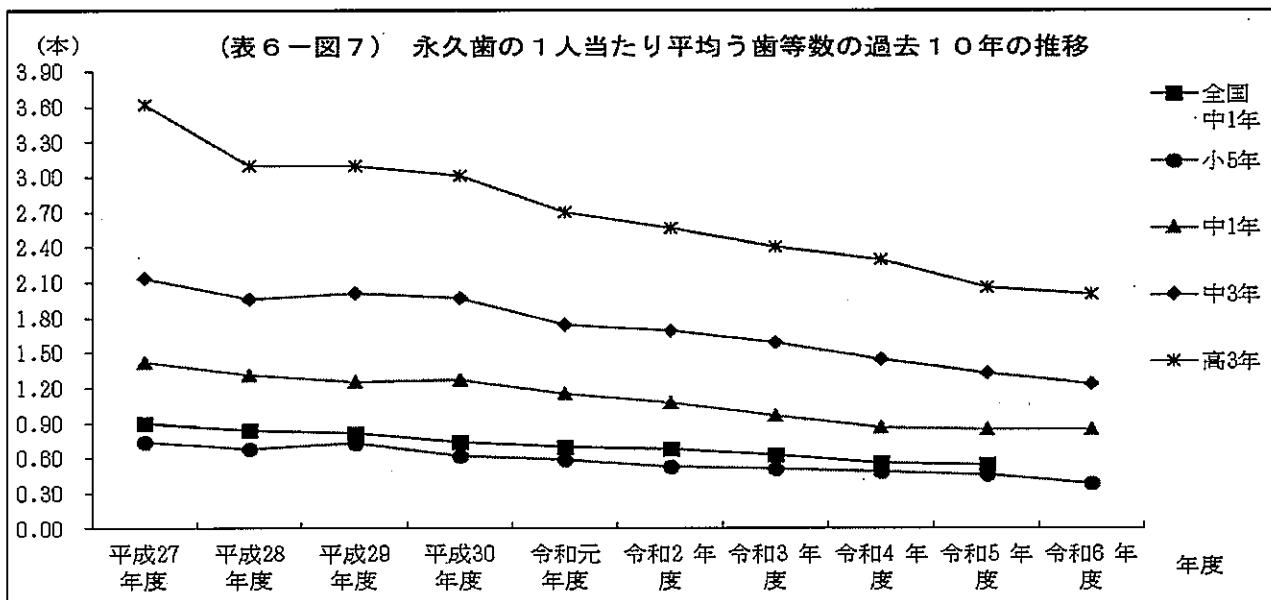
※小数点以下第3位を四捨五入

(表6) 永久歯の1人当たり平均う歯等数の過去10年の推移

(単位:本)

年度	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
国・県 学年										
全国 中1年	0.90	0.84	0.82	0.74	0.70	0.68	0.63	0.56	0.55	
本県	小1年	0.08	0.07	0.07	0.07	0.08	0.07	0.06	0.05	0.04
	小2年	0.20	0.18	0.18	0.18	0.17	0.18	0.12	0.13	0.12
	小3年	0.39	0.33	0.35	0.28	0.31	0.29	0.27	0.23	0.18
	小4年	0.54	0.56	0.48	0.48	0.39	0.43	0.42	0.38	0.30
	小5年	0.74	0.68	0.73	0.62	0.59	0.53	0.51	0.49	0.39
	小6年	0.96	0.88	0.91	0.87	0.75	0.72	0.66	0.62	0.54
	中1年	1.42	1.31	1.25	1.27	1.15	1.08	0.97	0.87	0.85
	中2年	1.73	1.70	1.63	1.55	1.40	1.40	1.25	1.15	1.05
	中3年	2.14	1.96	2.01	1.97	1.74	1.69	1.59	1.45	1.33
	高1年	2.57	2.33	2.24	2.26	2.00	1.85	1.70	1.63	1.44
	高2年	3.01	2.80	2.69	2.62	2.46	2.21	2.06	1.92	1.63
	高3年	3.62	3.10	3.10	3.01	2.70	2.57	2.41	2.30	2.00

※網掛けは令和5年度より減少していることを表している。



5 肥満度（過体重度）について

文部科学省で実施している学校保健統計調査（青森県の主管課は総合政策部統計分析課）では、平成18年度から、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度（過体重度）を求め、肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、-20%以下の者を痩身傾向児としてその出現率を公表している。

のことから、本調査においても平成19年度から同様の算出方法により肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率を報告することとした。肥満度の求め方は以下のとおりである。

$$\text{肥満度} = (\text{実測体重} - \text{身長別標準体重}) \div \text{身長別標準体重} \times 100 (\%)$$

※ 上記における身長別標準体重は、年齢・性別に下表の係数「a」及び「b」を用いて次のように算出する。

$$\text{身長別標準体重} = a \times \text{実測身長} - b$$

年齢 係数	男		女	
	a	b	a	b
6	0. 461	32. 382	0. 458	32. 079
7	0. 513	38. 878	0. 508	38. 367
8	0. 592	48. 804	0. 561	45. 006
9	0. 687	61. 390	0. 652	56. 992
10	0. 752	70. 461	0. 730	68. 091
11	0. 782	75. 106	0. 803	78. 846
12	0. 783	75. 642	0. 796	76. 934
13	0. 815	81. 348	0. 655	54. 234
14	0. 832	83. 695	0. 594	43. 264
15	0. 766	70. 989	0. 560	37. 002
16	0. 656	51. 822	0. 578	39. 057
17	0. 672	53. 642	0. 598	42. 339

例 1 11歳男子で身長が155.5cm、体重が66.8kgのAさんの場合

$$\text{身長別標準体重は } 0.782 \times 155.5 - 75.106 = 46.495$$

$$\text{肥満度} = (66.8 - 46.495) \div 46.495 \times 100 (\%)$$

= 43.671…… ※肥満度20%以上であり、肥満傾向児

例 2 15歳女子で身長が164.8cm、体重が41.5kgのBさんの場合

$$\text{身長別標準体重は } 0.560 \times 164.8 - 37.002 = 55.286$$

$$\text{肥満度} = (41.5 - 55.286) \div 55.286 \times 100 (\%)$$

= -24.935…… ※肥満度-20%以下であり、痩身傾向児

(1) 肥満傾向児及び瘦身傾向児の出現率の状況

表7及び図9～11は、肥満傾向児の出現率、表8及び図12～14は、瘦身傾向児の出現率である。

(2) 地区別肥満傾向児及び瘦身傾向児の出現率の状況

表9及び図15は、肥満傾向児の出現率を地区別に比較したものである。これを見ると西北地区では全年齢層で県平均を上回っている。また、下北地区では11年齢層、上北地区では9年齢層、三八地区では6年齢層で県平均を上回っている。

表12及び図18は、瘦身傾向児の出現率を地区別に比較したものである。これを見ると東青地区、中南地区及び下北地区では8年齢層、上北地区では6年齢層、西北地区では5年齢層、三八地区では1年齢層で県平均を上回っている。

このように、各年齢層における肥満傾向児及び瘦身傾向児の出現率には地域差が見られる。

(3) 地区別、男女別肥満傾向児の出現率の状況

表10・11及び図16・17は、地区別の肥満傾向児出現率を男女別に比較したものである。

男子では、西北地区及び下北地区で11年齢層、上北地区で7年齢層、三八地区で5年齢層、東青地区で1年齢層で県平均を上回っている。

女子では、西北地区で全年齢層、下北地区で11年齢層、上北地区で9年齢層、三八地区で8年齢層、中南地区で2年齢層、東青地区で1年齢層で県平均を上回っている。

(4) 地区別、男女別瘦身傾向児の出現率の状況

表13・14及び図19・20は、地区別の瘦身傾向児出現率を男女別に比較したものである。

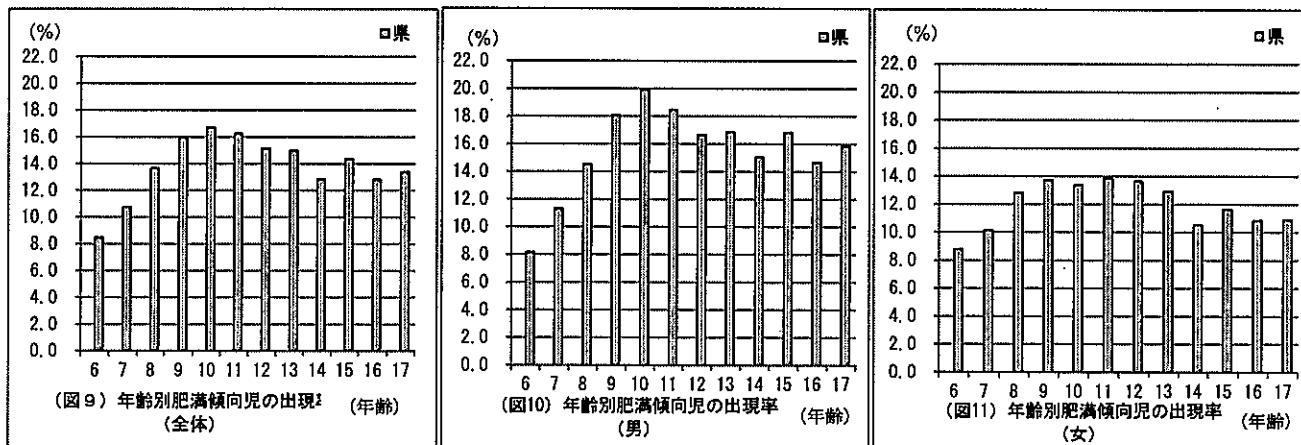
男子では、下北地区で9年齢層、東青地区で8年齢層、中南地区で7年齢層、上北地区で6年齢層、西北地区で3年齢層、三八地区で2年齢層で県平均を上回っている。

女子では、東青地区で8年齢層、中南地区で7年齢層、上北地区で5年齢層、西北地区、下北地区及び三八地区で4年齢層で県平均を上回っている。

(表7) 令和6年度年齢別肥満傾向児の出現率 (単位:%)

区分 学年	年齢	全体		女 県
		男 県	女 県	
小1	6	8.5	8.2	8.8
小2	7	10.7	11.3	10.2
小3	8	13.7	14.5	12.8
小4	9	15.9	18.1	13.7
小5	10	16.7	19.9	13.4
小6	11	16.3	18.5	13.9
中1	12	15.2	16.6	13.6
中2	13	14.9	16.9	13.0
中3	14	12.8	15.1	10.5
高1	15	14.4	16.8	11.7
高2	16	12.8	14.7	10.9
高3	17	13.4	15.8	10.9

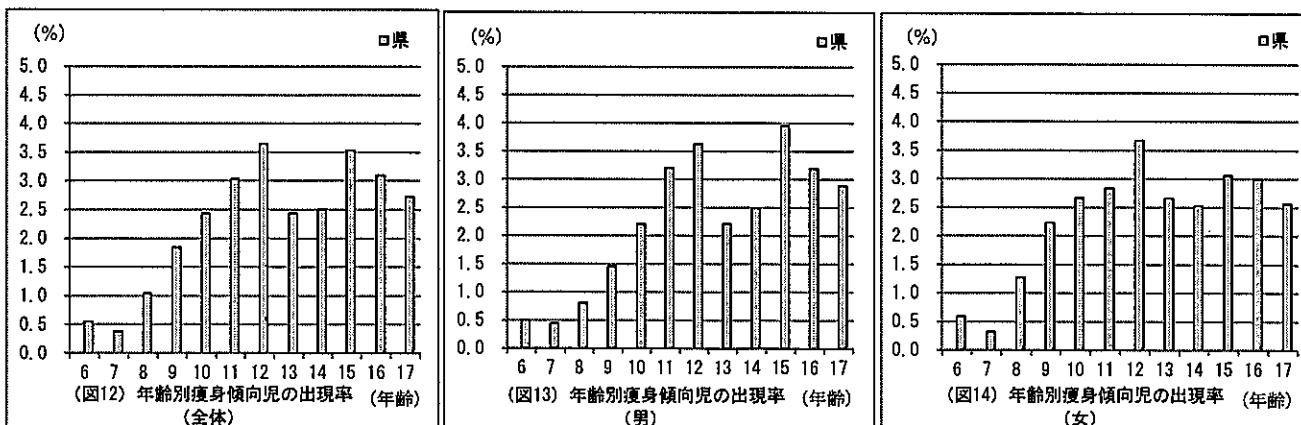
県:令和6年度青森県学校保健調査



(表8) 令和6年度年齢別瘦身傾向児の出現率 (単位:%)

区分 学年	年齢	全体		女 県
		男 県	女 県	
小1	6	0.5	0.5	0.6
小2	7	0.4	0.4	0.3
小3	8	1.0	0.8	1.3
小4	9	1.8	1.5	2.2
小5	10	2.4	2.2	2.7
小6	11	3.0	3.2	2.8
中1	12	3.6	3.6	3.7
中2	13	2.4	2.2	2.7
中3	14	2.5	2.5	2.5
高1	15	3.5	4.0	3.1
高2	16	3.1	3.2	3.0
高3	17	2.7	2.9	2.6

県:令和6年度青森県学校保健調査

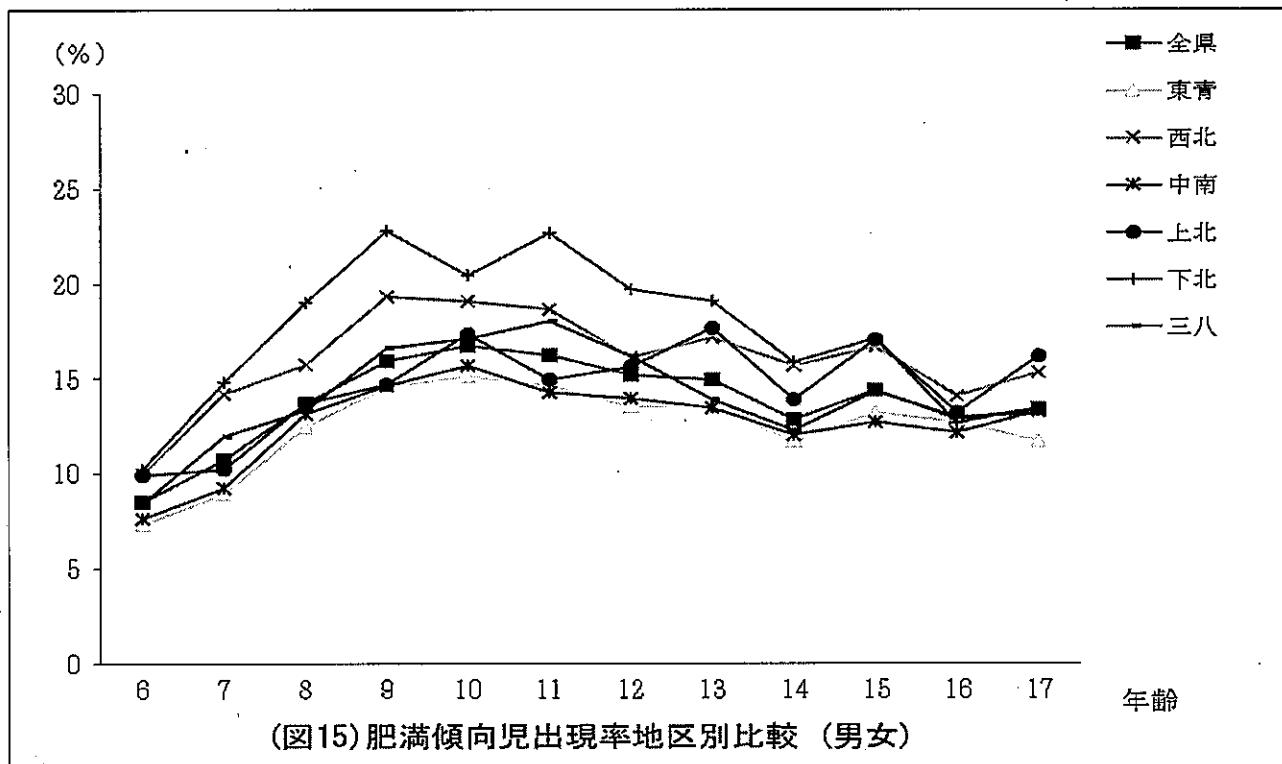


(表9) 肥満傾向児の出現率 地区別比較(男女)

(単位:%)

年齢	学年	県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
6	小1	8.5	7.3	10.0	7.7	9.9	10.2	8.4
7	小2	10.7	9.0	14.2	9.2	10.3	14.8	11.9
8	小3	13.7	12.5	15.8	13.1	13.7	19.0	13.3
9	小4	15.9	14.5	19.3	14.6	14.7	22.8	16.6
10	小5	16.7	15.1	19.1	15.7	17.3	20.4	17.1
11	小6	16.3	14.6	18.7	14.3	14.9	22.7	18.1
12	中1	15.2	13.5	16.1	14.0	15.6	19.7	16.2
13	中2	14.9	13.5	17.1	13.4	17.7	19.1	13.9
14	中3	12.8	11.7	15.7	12.0	13.9	15.9	12.2
15	高1	14.4	13.2	16.7	12.7	17.1	17.1	14.3
16	高2	12.8	12.7	14.1	12.2	13.2	12.6	12.9
17	高3	13.4	11.7	15.3	13.2	16.2	13.5	13.1

※網掛けは県平均を上回った年齢層

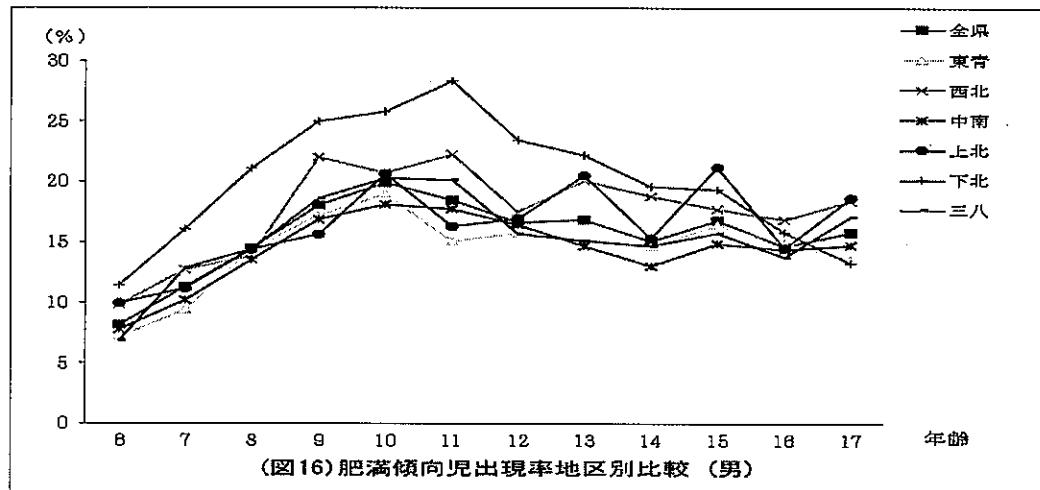


(表10) 肥満傾向児の出現率 地区別比較(男)

(単位:%)

年齢	学年	県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
6	小1	8.2	7.2	9.8	7.8	9.9	11.4	6.9
7	小2	11.3	9.4	12.7	10.2	11.2	16.1	12.9
8	小3	14.5	14.5	13.9	13.5	14.4	21.1	14.4
9	小4	18.1	17.2	22.0	16.9	15.6	25.0	18.6
10	小5	19.9	19.0	20.7	18.1	20.7	25.8	20.3
11	小6	18.5	15.1	22.2	17.7	16.3	28.3	20.2
12	中1	16.6	15.7	17.5	16.5	17.0	23.5	15.7
13	中2	16.9	15.1	20.1	14.7	20.6	22.2	15.2
14	中3	15.1	14.6	18.8	13.0	15.3	19.6	14.7
15	高1	16.8	16.4	17.7	14.9	21.2	19.4	15.8
16	高2	14.7	15.0	16.9	14.4	14.6	15.8	13.8
17	高3	15.8	13.6	18.4	14.8	18.7	13.3	17.2

※網掛けは県平均を上回った年齢層

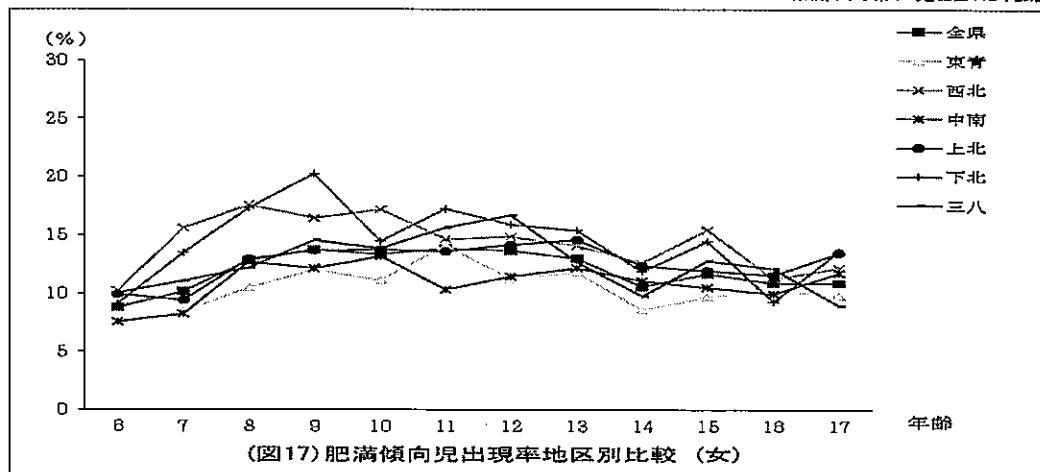


(表11) 肥満傾向児の出現率 地区別比較(女)

(単位:%)

年齢	学年	県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
6	小1	8.8	7.4	10.2	7.5	9.9	9.1	10.0
7	小2	10.2	8.5	15.6	8.2	9.4	13.5	11.0
8	小3	12.8	10.5	17.6	12.7	12.9	17.3	12.2
9	小4	13.7	12.0	16.4	12.1	13.7	20.2	14.5
10	小5	13.4	11.1	17.2	13.2	13.7	14.5	13.8
11	小6	13.9	14.1	14.7	10.3	13.6	17.3	15.7
12	中1	13.6	11.2	14.8	11.4	14.2	15.9	16.7
13	中2	13.0	11.8	14.1	12.2	14.6	15.4	12.7
14	中3	10.5	8.6	12.6	11.0	12.4	11.8	9.8
15	高1	11.7	9.7	15.5	10.5	11.9	14.5	12.8
16	高2	10.9	10.2	11.3	9.9	11.5	9.3	12.1
17	高3	10.9	9.9	12.2	11.8	13.5	13.6	8.9

※網掛けは県平均を上回った年齢層

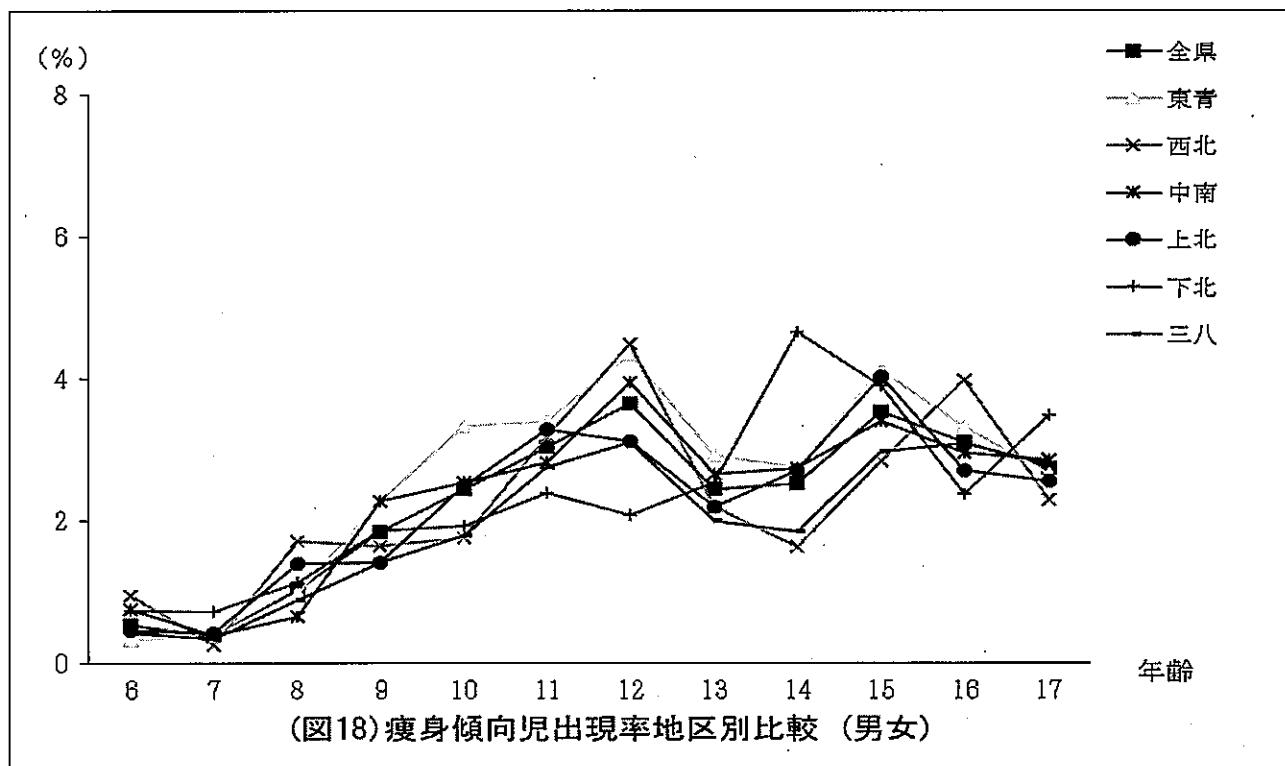


(表12) 痩身傾向児出現率地区別比較(男女)

(単位:%)

年齢	学年	県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
6	小1	0.5	0.3	1.0	0.7	0.5	0.7	0.4
7	小2	0.4	0.4	0.3	0.4	0.4	0.7	0.3
8	小3	1.0	1.0	1.7	0.7	1.4	1.1	0.9
9	小4	1.8	2.3	1.7	2.3	1.4	1.9	1.4
10	小5	2.4	3.3	1.8	2.5	2.5	1.9	1.8
11	小6	3.0	3.4	3.2	2.8	3.3	2.4	2.8
12	中1	3.6	4.3	4.5	3.9	3.1	2.1	3.1
13	中2	2.4	2.9	2.2	2.7	2.2	2.5	2.0
14	中3	2.5	2.7	1.6	2.7	2.7	4.7	1.8
15	高1	3.5	4.1	2.8	3.4	4.0	3.9	3.0
16	高2	3.1	3.3	4.0	3.0	2.7	2.4	3.1
17	高3	2.7	2.6	2.3	2.8	2.6	3.5	2.8

※網掛けは県平均を上回った年齢層

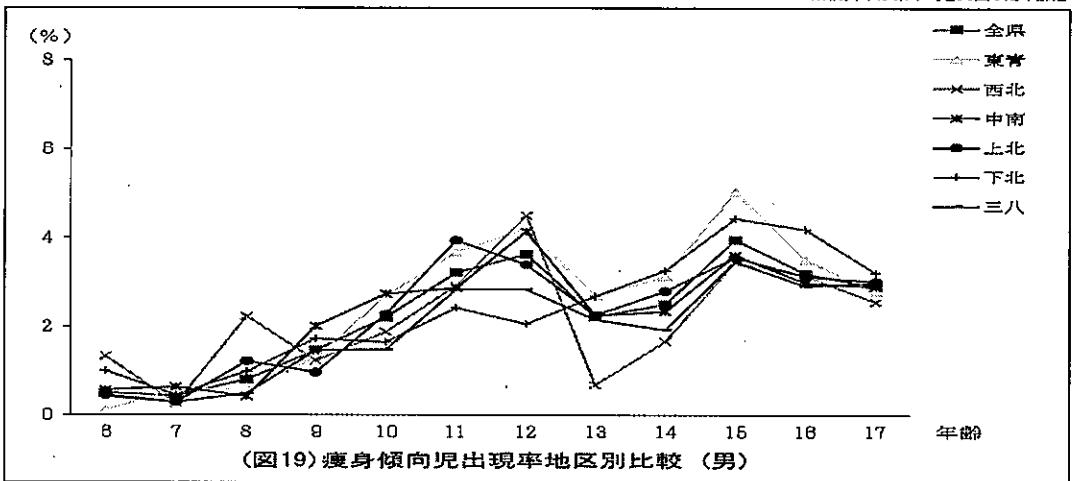


(表13) 痩身傾向児の出現率 地区別比較(男)

(単位:%)

年齢	学年	県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
6	小1	0.5	0.1	1.3	0.6	0.5	1.0	0.4
7	小2	0.4	0.6	0.3	0.6	0.3	0.5	0.3
8	小3	0.8	0.6	2.2	0.4	1.2	1.0	0.5
9	小4	1.5	1.3	1.2	2.0	1.0	1.7	1.5
10	小5	2.2	2.7	1.9	2.7	2.3	1.6	1.5
11	小6	3.2	3.7	2.9	2.9	3.9	2.4	2.8
12	中1	3.6	4.2	4.5	4.1	3.4	2.1	2.8
13	中2	2.2	2.7	0.7	2.3	2.3	2.7	2.2
14	中3	2.5	3.1	1.7	2.3	2.8	3.3	1.9
15	高1	4.0	5.0	3.4	3.6	3.6	4.4	3.5
16	高2	3.2	3.5	3.2	3.0	3.1	4.2	2.9
17	高3	2.9	2.8	2.5	2.9	3.0	3.2	3.0

※網掛けは県平均を上回った年齢層

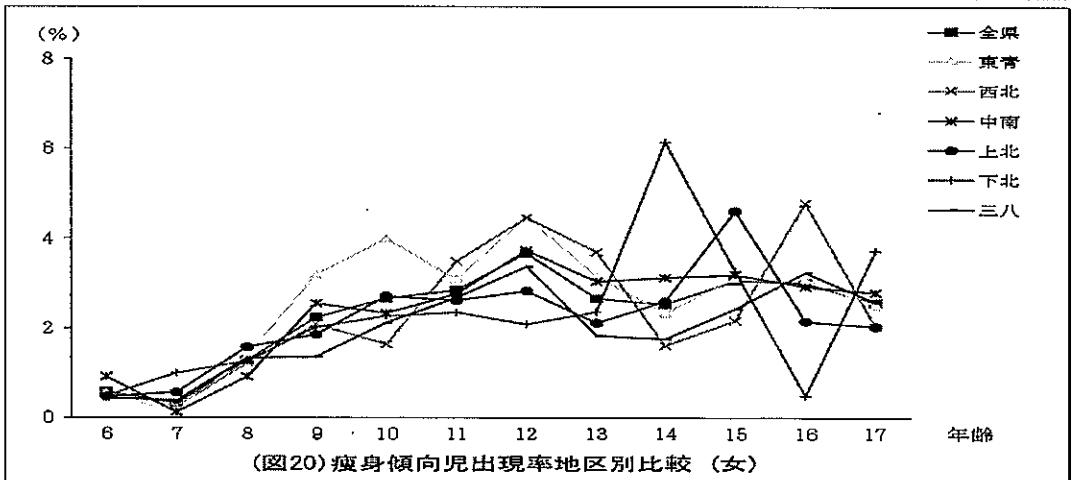


(表14) 痩身傾向児の出現率 地区別比較(女)

(単位:%)

年齢	学年	県	東青	西北	中南	上北	下北	三八
6	小1	0.6	0.6	0.6	0.9	0.5	0.5	0.4
7	小2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.6	1.0	0.4
8	小3	1.3	1.4	1.2	0.9	1.6	1.3	1.3
9	小4	2.2	3.2	2.1	2.5	1.9	2.0	1.4
10	小5	2.7	4.0	1.6	2.3	2.7	2.3	2.1
11	小6	2.8	3.1	3.5	2.8	2.6	2.4	2.7
12	中1	3.7	4.5	4.5	3.7	2.8	2.1	3.4
13	中2	2.7	3.2	3.7	3.0	2.1	2.4	1.8
14	中3	2.5	2.3	1.6	3.1	2.6	6.1	1.8
15	高1	3.1	3.1	2.2	3.2	4.6	3.3	2.4
16	高2	3.0	3.1	4.8	2.9	2.2	0.5	3.2
17	高3	2.6	2.5	2.0	2.8	2.0	3.7	2.6

※網掛けは県平均を上回った年齢層



III 統計資料

1 令和6年度小・中・高等学校疾患・異常被患率等の全国平均値と県平均値

(表15)

区分	計	裸眼視力		難聴		眼		蛋白検出の者		尿糖検出の者		歯		歯垢の状態		歯肉の状態		その他の歯疾患		結核		心臓の疾患異常			
		1.0未満 0.7以上		0.7未満 0.3以上		0.3未満		0.3未満		計		うち未処置完了者		歯列咬合		歯垢		歯肉		その他の歯疾患		結核		心臓の疾患異常	
小学校	計	45.0	16.4	15.2	13.4	0.5	4.1	1.1	0.1	44.3	19.1	25.2	3.6	0.1	2.1	1.5	10.0	0.0	0.3	2.6	0.0	0.0	0.3	2.1	
小学校	男	43.2	16.1	14.5	12.6	0.4	4.5	0.9	0.1	45.9	19.6	26.3	3.2	0.1	2.5	1.7	9.9	0.0	0.3	2.2	0.0	0.0	0.3	2.0	
小学校	女	46.9	16.7	16.0	14.2	0.7	3.7	1.3	0.1	42.6	18.5	24.1	3.9	0.0	1.7	1.3	10.0	0.0	0.3	2.0	0.0	0.0	0.3	2.0	
中学校	計	61.6	11.3	17.9	32.4	0.3	3.2	2.6	0.2	35.8	19.1	16.7	4.1	0.3	3.7	3.3	4.6	0.0	0.3	2.8	0.0	0.0	0.3	2.9	
中学校	男	59.4	11.4	18.1	30.0	0.1	3.6	3.0	0.2	33.6	18.2	15.5	4.3	0.2	4.6	3.9	5.1	0.0	0.3	2.9	0.0	0.0	0.4	2.6	
中学校	女	63.9	11.3	17.6	34.9	0.4	2.8	2.2	0.3	38.0	20.1	17.9	3.9	0.3	2.9	2.6	4.1	0.0	0.4	2.6	0.0	0.0	0.4	2.6	
高等学校	計	64.1	12.1	16.6	36.3	0.3	3.6	2.3	0.3	43.6	27.1	16.5	3.7	0.5	3.7	4.1	1.8	0.1	0.5	2.1	0.0	0.2	0.6	2.4	
高等学校	男	62.7	12.5	17.6	32.6	0.3	4.5	2.5	0.4	42.5	24.7	17.9	3.3	0.3	4.6	4.9	1.9	0.2	0.6	2.1	0.0	0.2	0.6	2.4	
高等学校	女	65.7	11.6	15.5	38.6	0.4	2.8	2.2	0.3	44.6	29.6	15.0	4.2	0.7	2.8	3.3	1.7	0.0	0.5	1.8	0.0	0.0	0.5	1.8	

区分	計	脊柱・胸郭・四肢		皮膚疾患		耳鼻咽頭		口疾患		その他疾患		ぜんそく		腎臓疾患		脳疾患		言語障害		その他の疾病・異常		結核の検査の対象者		永久歯の一人当たり平均う歯数			
		脊柱の疾病・異常		胸郭の疾患・異常		四肢の疾患・異常		アトピー		その他の皮膚疾患		副鼻疾患		咽・喉異常		頭頸部疾患		脳膜炎		言語障害		その他の疾病・異常		結核の検査の対象者		う歯	
小学校	計	3.4	1.5	0.0	0.5	1.4	0.6	6.1	0.7	1.0	0.1	0.2	2.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
小学校	男	3.9	1.5	0.1	0.7	1.4	0.6	6.4	0.8	1.2	0.3	0.3	3.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
小学校	女	2.8	1.5	0.0	0.4	1.3	0.5	5.7	0.5	0.8	0.1	0.1	2.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	
中学校	計	2.6	2.1	0.1	0.5	1.1	0.3	4.4	0.3	0.7	0.1	0.1	2.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4	
中学校	男	3.1	1.7	0.2	0.6	1.1	0.3	5.6	0.5	0.8	0.1	0.1	2.5	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.6	0.3	0.3	0.3	0.3	
中学校	女	2.2	2.4	0.0	0.4	1.0	0.3	3.3	0.2	0.6	0.1	0.1	2.4	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.7	0.5	0.5	0.5	0.5	
高等学校	計	0.2	0.7	0.0	0.1	1.2	0.2	3.3	0.1	0.9	0.2	0.1	3.5	0.1	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.2	0.4	0.4	0.4	0.4	
高等学校	男	0.1	0.5	0.0	0.1	1.3	0.2	4.5	0.2	0.8	0.2	0.1	3.0	0.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	1.1	0.5	0.5	0.5	0.5	
高等学校	女	0.4	0.9	0.0	0.0	1.2	0.2	2.0	0.1	1.0	0.2	0.1	4.0	0.1	1.8	0.1	0.1	0.0	0.0	1.8	0.1	1.7	0.4	0.4	0.4	0.4	

(注) 小数点以下第2位を四捨五入

3 令和6年度本県生徒の疾病・異常被患率（中学校）

(表17)

区分	計	裸眼視力		難眼		眼疾		蛋白検出の者		尿糖検出の者		歯う歯		歯科疾患		心臓の疾患・異常		電図異常		
		1.0未満0.7以上	0.7未満0.3以上	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.3未満	0.2	0.2	18.2	16.4	4.1	0.1	3.5	3.0	6.3	0.0	0.4
1 男	計	59.7	11.3	18.0	30.3	0.3	3.0	0.2	0.2	34.6	18.2	16.4	4.1	0.1	3.5	3.0	6.3	0.0	0.4	2.8
	女	57.2	11.1	17.8	28.3	0.2	3.4	0.1	0.1	33.0	17.6	15.5	4.4	0.0	4.5	3.7	7.3	0.0	0.2	2.9
2 男	計	62.5	11.3	18.1	33.0	0.3	2.5	0.3	0.3	36.5	19.7	16.8	4.1	0.3	4.1	3.6	4.5	0.0	0.3	2.6
	女	60.1	11.8	18.3	29.9	0.3	3.4	0.2	0.3	32.9	17.6	15.3	4.2	0.2	5.1	4.4	5.0	0.0	0.4	2.2
3 男	計	62.6	11.4	17.4	33.9	0.3	3.4	0.3	0.3	40.3	21.9	18.4	3.9	0.3	3.1	2.8	3.9	0.0	0.3	2.2
	女	61.1	11.1	18.2	31.8	0.1	4.0	0.3	0.3	35.1	19.4	15.7	4.4	0.3	4.1	3.6	2.9	0.0	0.4	2.2
		64.3	11.7	16.4	36.2	0.5	2.9	1.9	0.3	37.6	19.7	17.9	3.9	0.5	3.0	2.9	3.0	0.0	0.2	2.2

区分	栄養状態	脊柱・胸部・四肢		皮膚疾患		耳鼻咽喉頭		その他疾患		その他の疾病・異常		結核に係る検査		永久歯の一人当たり平均う歯等数		
		脊柱の疾病・異常	胸部の疾病・異常	四肢の疾病・異常	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	耳鼻疾患	咽・喉・副鼻腔疾患	喉嚨異常	息	脳の対象者	計	失歯数(本)	うち歯(本)	うち歯(本)	
1 男	計	2.6	1.4	0.1	0.5	1.1	0.3	5.0	14.8	0.5	0.7	0.1	2.2	0.0	0.9	0.0
	女	2.9	1.0	0.1	0.6	1.1	0.2	6.1	17.4	0.7	0.8	0.0	2.5	0.0	0.7	0.0
2 男	計	2.7	3.2	0.1	0.5	1.2	0.4	4.3	17.1	0.2	0.6	0.1	2.3	0.0	1.1	0.0
	女	3.2	2.9	0.2	0.5	1.2	0.4	5.4	19.4	0.3	0.7	0.2	2.5	0.0	0.9	0.0
3 男	計	2.6	1.7	0.1	0.6	0.9	0.2	3.6	14.8	0.1	0.7	0.1	2.9	0.0	1.2	0.0
	女	3.1	1.3	0.2	0.7	0.9	0.2	4.8	16.2	0.2	0.9	0.1	2.6	0.0	1.1	0.0

※小数点以下第2位を四捨五入

4 令和6年度本県生徒の疾病・異常被患率（高等学校）

(表18)

県...令和6年度普通高等学校保健調査による(単位:%)

区分	計	裸眼視力		難聴		眼疾患		蛋白検出の者		尿糖検出の者		歯科		口腔疾患		心臓の疾病・異常				
		1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満 0.3以上	計	歯科未の處置完了者	歯科未の處置完了者	歯科未の處置完了者	歯科未の處置完了者	歯科未の處置完了者										
1 男	65.1	12.5	17.6	36.5	0.3	3.3	2.9	0.3	39.7	25.3	14.5	4.0	0.4	3.4	3.8	2.2	0.1	0.6	2.1	
	女	67.8	11.9	17.6	38.3	0.3	2.6	2.6	0.3	38.7	23.1	15.6	3.6	0.3	4.3	4.5	2.1	0.2	0.6	2.4
2 男	61.2	12.7	18.0	30.5	0.3	5.4	2.3	0.3	41.8	24.9	16.9	3.5	0.3	5.1	5.5	1.9	0.0	0.7	1.8	
	女	64.5	12.3	14.5	37.8	0.3	2.7	2.0	0.2	44.2	29.3	15.0	4.0	0.6	2.9	3.3	1.3	0.5	0.5	0.5
3 男	63.0	11.6	15.8	35.6	0.3	4.0	2.0	0.5	48.1	29.0	19.1	3.4	0.6	3.7	4.2	1.6	0.0	0.5	0.5	
	女	61.8	12.4	17.2	32.2	0.2	5.1	2.0	0.6	47.4	26.2	21.2	2.7	0.2	4.4	4.7	1.8	0.6	0.6	0.6
		64.5	10.7	14.1	39.7	0.5	3.1	1.9	0.4	48.8	31.9	16.8	4.1	0.9	3.0	3.7	1.5	0.3	0.3	0.3

区分	脊柱・胸郭・四肢	皮膚疾患		耳鼻咽喉頭		眼疾患		耳鼻疾患		口疾患		呼吸器疾患		脳疾患		その他の疾病・異常		結果に關する検査		
		脊柱の疾病・異常	胸部の疾病・異常	四肢の疾病・異常	アトピー性皮膚炎	その他の皮膚疾患	耳疾患	鼻疾患	副鼻疾患	喉嚨疾患	口腔疾患	咽嚨異常	鼻疾患	脳膜炎	脳梗塞	その他の病の異常	結核	失歯数(本)	被験者(本)	平均歯数(本)
1 男	0.2	0.9	0.0	0.1	1.3	0.2	3.0	13	0.1	0.9	0.1	0.2	3.6	1.4	0.0	1.4	1.0	0.4	0.4	
	女	0.1	0.8	0.0	0.2	1.4	0.2	4.0	15.3	0.1	0.9	0.1	0.1	3.2	1.4	0.0	1.3	0.9	0.4	0.4
2 男	0.2	0.6	0.0	0.0	1.4	0.2	3.5	15.4	0.4	1.0	0.2	0.1	3.3	1.6	0.0	1.6	1.2	0.4	0.4	
	女	0.1	0.3	0.0	0.0	1.5	0.2	5.6	18.1	0.5	0.9	0.2	0.1	2.7	1.6	0.0	1.5	1.1	0.5	0.5
3 男	0.2	0.6	0.0	0.0	1.4	0.2	3.5	15.4	0.4	1.0	0.2	0.1	3.8	1.7	0.0	1.7	1.3	0.4	0.4	
	女	0.1	0.4	0.0	0.0	1.2	0.2	1.8	13.1	0.3	1.1	0.2	0.1	3.6	2.0	0.1	1.9	1.4	0.5	0.5
		0.3	0.7	0.0	0.0	1.0	0.1	4.4	17.3	0.3	0.8	0.1	0.0	3.6	2.1	0.1	2.0	1.6	0.4	0.4

※小数点以下第2位を四捨五入

